助成金利用報告書

平成25年3月29日

小学名  三郷市立彦郷小学校
学校長名  大友 みどり
担当者名  第4学年 担任 鈴木祐史 鳥居晃司 柏木美帆
メールアドレス hikosatosho@edu.city.misato.saitama.jp
電話番号  048-957-9911
FAX番号  048-957-9912

1 学年、教科、単元について
○第4学年 総合的な学習の時間
　単元名 「ぼくらの自然、調査隊！」（身近な環境）

【ねらい】
○体験活動や周りの人々との関わりを通じて、環境問題と自分の関わりについて考え、今、自分にできることは何かを追求することができる。
○課題にふさわしい学習方法を選択し、様々な学習方法を使って課題を解決することができる。
○学習を通じて自己の成長に気づき、自分にできることは何か考え、これからの生活に生きようとすることができる。
○地域の方々や環境問題に関する方々の思いにふれ、学んだことを発信することができる。

2 実施計画について
【関連する事前の学習】
○社会科「ごみと住みよい暮らし」…廃棄物の処理の工夫・清掃工場見学
○「くらしをささえる水」…飲料水確保の工夫・浄水場見学

【ふれる】
○児童の実態調査
○オリエンテーション
○ゲストティーチャーから、「身近な環境問題」についてのお話を聞く。
○クリーン作戦を行う。
○学校から出るゴミの調査をする。

【つかう】
○学習課題作り
①リサイクルして、学校のゴミを減らしたい。
②近くの第二大場川や二階半畑用水の汚れについて調べたい。
③合成洗剤の危険性について調べて、みんなに教えた。
④絶滅危惧種のキタミソウについて調べたい。
⑤地球温暖化とその影響について調べて、自分達ができることをやってみたい。
⑥節電の方法について調べ、みんなに協力してもらいたい。
⑦森林破壊が進まないように、できることを調べたい。

環境を守るために、「今、わたし達ができること」を考えやってみよう！

○活動計画作り
報告内容

【調べる】
○自分達の活動計画に沿って調べ学習を進める。
○自分にもできる身近な対策について考える。

【まとめる】
○情報交換会を行う。
○情報交換会での意見交流を生かし、よりよい発表内容となるように構成する。

【つたえる】
○発表会の準備をする。
○発表会を行う。
○これまでの学習をふり返る。

＜活動の実際＞
① 学校近くの第二大場川の水の汚れの調査をする。

② 「水質検査パックテスト」で第二大場川の水質検査をする。

③ 近くの二郷半田緑道の看板で水の汚れため、絶滅危惧種になっている「キタミソウ」について知り、守る工夫について調べる。

④ グループで川の汚れをなくすためはどうしたらよいか調べ、調べたことを発表する。（学校図書館の活用）
・汚れをふき取ることの大切さ
・合成洗剤を使わないための工夫
・せっけんの作り方
・植物を使った水の浄化方法
・その他
【ふるさと学習「ぼくらの自然調査隊！！」の学習をふり返って】

第二.Large川の水のよこれ調査が出てき、よかかったです。
思ったよりゴミが落ちていったり、水がよこれてておどろきました。
川の水をよこさない方ほうを勉強したので、やっていきたいです。

自分たちはふだん出してい
る「生活はい水」にふくまれて
いる合成せんざいや油が川の
水をよごす原因だとわかった、
おどろきました。食器のよごれ
をふき取ってから洗うとよい
と変わったので、これからはそ
うしたいです。

使い終わった水が下水道に
行っているのは知っていたけ
れど、下水道が、じょう水場と
同じような方法で水をきれい
にしていったなんて知らなかっ
たのでおどろきました。下水道
はたいせつなんだなと思いま
した。

川の水がよごれて、たくさん
の生き物がすめなくなったり、
絶めてしまっていると知
っておどろきました。二郷半領
用水にはキタミソウという植
物がある知ったので、大切に
守っていきたいです。

【関連する事後の学習】
○社会科見学での「紙すき体験」川の博物館での「荒川の学習」

埼玉県の伝とう工芸の「小川
和紙」について実さいに目で見
ることがでうせしかった
です。「小川和紙」は原料とさ
れいな水があったからかさん
になったそうです。「小川和紙」
も川と関係があるんだなぁと
思いました。

「川の博物館」に行きました。
ガリバーオークやアドベン
チャーシアターが楽しかった
です。てん示を見て、埼玉県は
荒川と深いつながりがあるん
だなあと思いました。こう水だ
けでなく川の水のよごれも大
きな問題だと思いました。

助成金に対する意見・要望
・助成金を総合的な学習の時間に活用する水質検査セットや図書資料
購入に使わせていただきました。
・貴重な機会をいただき、感謝申し上げます。